

シャープ、栃木工場閉鎖検討

シャープの経営再建計画に閉鎖が盛り込まれた栃木工場
矢板市、2013年1月、ヘリから撮影



銀行に再建計画案提示

予想以上の悪化で転換

シャープの経営再建計画案の全容が16日、明らかにになった。液晶テレビを生産する栃木工場(矢板市)の閉鎖や、大阪市の本社売却など大規模なリストラ策を盛り込んだ。

シャープは主要取引銀行に計画案を提示。2015年3月期連結決算で2千億円規模の赤字に転落する見通しのため、銀行などの協力を得て計2250億円の増資を実施し、立て直しを急ぐ。

主力の液晶事業は本体から切り離し、子会社にする方針。国内で3千人、海外で2千人規模の人員を削減する。

不振の太陽電池事業は、家庭用を含む全面撤退も視野に、まず「薄膜太陽電池」と呼ばれる大規模太陽光発電所(メガソーラー)向けの部門の売却を巡る。

液晶テレビの国内生産は、白物家電を手掛ける八尾工場(大阪府八尾市)に

移す。円安を受け、海外から栃木工場に回帰させる思惑だったが、予想以上の業績悪化で方向転換した。従業員の処遇は今後詰める。

発光ダイオード(LED)を製造する三原工場(広島県三原市)、センサーを手掛ける福山工場(同福山市)の第1・3工場の計4工場の閉鎖も計画案に盛り込んだ。同案に基づき新たな中期経営計画をとりまとめ、5月に発表する。

シャープは、中国のスマートフォンメーカー向けに販売している中小型液晶パネルの不振に加え、構造改革費用がかさむことから、15年3月期は2年ぶりに赤字に転落する見通し。みずほ銀行と三菱東京UFJ銀行に金融支援を求めている。

シャープの借入金を株式に振り替える「債務の株式化」を実施。企業再生ファンドからも出資を受ける。

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号
〒320-8686

下野新聞社

電話 028-625-1111

郵便振替口座 00180-1-623433
©下野新聞社2014

読者室 028-625-1179

(受付 月～金・午前10時～午後6時)

編集局 028-625-1121

販売 028-625-1120 (販売)

事業局 028-625-1134 (事業・教育)

営業局 028-625-1133 (広告)

PC・スマホ・携帯でも

下野新聞 検索

下野新聞購読お申し込みは
ダイヤル 0120-810081

電子号外

下野新聞購読お申し込みは
フリーダイヤル
0120-810081

携帯で、スマホで栃木のニュースを!!
下野新聞
SOON
月額
250円+税
下野新聞 検索